

各位

2023年9月7日

PSジャパン株式会社

ポリスチレン樹脂のケミカルリサイクル実証設備の運転開始について

～ スチレン資源循環システム構築が本格化 ～

PSジャパン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：顕谷 一平）は、このたび、弊社水島工場（所在地：岡山県倉敷市）にポリスチレン（PS）樹脂のケミカルリサイクル（CR）実証設備を新設いたしました。今後、実証運転を進め、使用済みのPS製品の再資源化によるスチレン資源循環システムの構築を本格化させます。

PS樹脂を熱分解し、原料となるスチレンモノマー（SM）に再生するCR実証設備は東芝プラントシステム株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：小西 崇夫）の技術にて建設しました。

今後弊社はPS樹脂を高効率・高品質に再生産する技術の実証と、量産化の検討を行います。



完成したケミカルリサイクルプラント

PS樹脂は家電製品や産業資材製品にも使われておりますが、最も比率の高い用途が食品容器包装で、従来のメカニカルリサイクル（MR）では食品接触用途に戻すのは課題が多いという難点がありました。CRでは再生産されたPS樹脂が食品容器包装にも使えることから、PS樹脂製食品容器包装の水平リサイクルに道を開くものとなります。

再生したSMから作られるPS樹脂はバージン品と同等の品質で、使用済みPS製品を単純焼却する場合と、それをCRする場合とを比較すると、GHG排出量をおおよそ半分に減らすことが見込まれます。弊社では各自治体様やユーザー様、工業会様と取り組みを進め、PS樹脂の資源循環システムの構築を加速してまいります。



ポリスチレンのケミカルリサイクル(資源循環)の模式図

弊社では、PS樹脂の資源循環の実現に向けて、「リボン-ポリスチレン®」のブランドを立ち上げました。弊社のMR・CR技術によって生まれた再生PSが「PSJ-ポリスチレン® リボン-ポリスチレン®」として、広くユーザーの皆様のもとにお届けできるよう活動してまいります。



弊社は PS 樹脂の製造販売会社として「お客様の視点に立ち、信頼を得、安心と価値を提供する」という経営方針のもと、安定品質・安定供給や新しい価値の商品提供のみならず、環境問題に真剣に取り組んでおります。カーボンニュートラルならびに資源循環社会の実現に向け、PS 樹脂の資源循環を通じて、その責任を果たしてまいります。

<ご参考>

PS ジャパン株式会社の概要

本社 : 東京都文京区小石川一丁目 4 - 1

社長 : 顕谷 一平

株主 : 旭化成株式会社 62.07%、出光興産株式会社 37.93%

資本金 : 50 億円

売上高 : 約 700 億円 (2022 年度)

東芝プラントシステム株式会社の概要

本社 : 神奈川県川崎市幸区堀川町 72-34

社長 : 小西 崇夫

資本金 : 約 119 億円

以上